

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第3回 定例会)

質問順位	3 5 番 議員 久 保 山 義 明	
質問事項 1	想定外をなくすための危機管理対策について	
質問の要旨	<p>平成30年7月豪雨は、多くの犠牲者と被災者を生み出した。今後もこのような自然災害は常に想定すべきであり、その対策としての町の考え方を問う。</p> <p>また、危機管理は自然災害だけではなく、様々な緊急事態が予想される。そうした中、どのような危機管理対策としていくのかを問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 今回の豪雨災害に際し、想定外だった案件について示せ。また、想定外の案件への今後の対応策について示せ</p> <p>(2) 今回の豪雨に際し、8つの情報、警報、指示が発令されたが、その判断基準及び周知方法について示せ</p> <p>(3) 災害対策本部の設置と解散の判断基準及び周知方法について示せ</p> <p>(4) 町立の小中学校における休校及び下校措置の判断基準と周知方法について示せ</p> <p>(5) 民有地における特別災害復旧補助金制度等の確立を検討すべきだが、町の考えは</p> <p>(6) 重大な事故、大規模な感染症等にも対応した危機管理指針等を策定すべきだが、町の考えは</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(平成30年第3回 定例会)

質問順位	3 5 番 議員 久 保 山 義 明	
質問事項 2	中心市街地活性化基本計画について	
質問の要旨	<p>今年度より施策が実施される中心市街地活性化基本計画には、駅前商業地域からの期待度も高い。</p> <p>しかしながら、この計画により何が変化し、最終的なイメージの共有が住民とできていないと感じられる。</p> <p>計画策定の認定が目的とならぬように、民間との連携、実施主体者の明確化などを問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 都市再生整備計画と中心市街地活性化基本計画は、連動しているように思われるが、それぞれの用途基準の違いについて示せ</p> <p>(2) 中心市街地活性化基本計画の主な実施主体は、民間によるところも多いと思われるが、現在までにどのような提案、計画があがってきているのか示せ</p> <p>(3) 今年度委託している歴史的風致維持向上計画及びこれから策定に入る予定の立地適正化計画、それぞれの目的と進捗状況について示せ</p>	<p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p>
質問事項 3	市街化調整区域における土地利用について	
質問の要旨	<p>基山町は鳥栖基山都市計画において、土地利用が厳しく制限されている。そこで、今後の空家対策、災害対策における土地利用について提案する。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) ハザードマップにおけるレッドゾーン区域居住者及び災害被災者等に関して、市街化調整区域内でも移転可能とする条例等の制定をすべきだが、町の考えは</p> <p>(2) 空家に隣接する農地は、現在の法制化では耕作証明取得者のみが取得可能であるが、今後の空家対策として、一定の条件を満たす場合は取得できる条例等の制定をすべきだが、町の考えは</p>	<p style="text-align: right;">町 長</p> <p style="text-align: right;">町 長</p>